



おぐに議会だより

第43号

令和3年8月10日



表紙の写真
く宮原保育園プール遊び>

○令和3年 第2回定例会
○クローズアップ小国

令和3年第2回定例会 令和3年6月9日(水)～6月11日(金)

令和3年第2回定例会を開き、15の議題を審査しました。

【専決処分事項の承認】

○承認第3号 専決第1号小国町税条例の一部改正

…地方税法等の改正に伴う条例改正。扶養親族申告書や退職所得申告書の電子提出の際の税務署長の承認の廃止など。

【条 例】

○議案第23号 小国町税条例の一部改正

…地方税法等の改正に伴う条例改正。国外居住親族の住民税の非課税限度額の見直しや市販の医薬品購入により受けられる医療費控除の延長など。

○議案第24号 小国町税特別措置条例の一部改正

…過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法施行に伴う条例改正。製造業や旅館業、農林水産物販売業等の施設を新設、増設した場合の固定資産税軽減のための条例。

○議案第25号 災害による被災者に対する町税の減免に関する条例の一部改正

…総務省通知「災害被災者に対する地方税の減免措置について」の一部改正に伴う条例改正。被災家屋の固定資産税の減免を罹災証明書に基づく減免基準とする事が出来る規定を追加。

○議案第26号 小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

…感染症対策の強化や多職種連携によるICT活用、高齢者虐待防止の推進及び人員基準の緩和など。

○議案第27号 小国町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

…議案第26号と同様の改正。

○議案第28号 小国町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正

…感染症対策の強化や多職種連携によるICT活用、高齢者虐待防止の推進及び事業所から利用者へケアプランによるサービスに関する説明を求めるなど。

○議案第29号 小国町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

…感染症対策の強化や多職種連携によるICT活用、高齢者虐待防止の推進など。

○議案第30号 熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約変更

…同審査会に新たに合志市が加入するもの。

【 予 算 】

○議案第31号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)

…1億3,962万円追加し、総額75億4,462万円に。

主な追加補正

…庁舎トイレ改修工事費300万円、非課税世帯の子どもへの給付金505万円、新型コロナワクチン接種費470万円、北里柴三郎記念館シアタールーム設計等費用1,010万円、町道改良工事費(下滴水、鍋ヶ滝線、湯鶴線)2,700万円、被災宅地災害復旧支援事業費2,533万円など。

【公共工事請負契約】

○議案第32号 町道はげ湯線②道路改良工事

…請負金額 5,221万7千円
受注者 有限会社ヤマニ建設
工期 令和3年12月27日

○議案第33号 町道下滴水線道路改良工事

…請負金額 8,635万円
受注者 株式会社伊藤組
工期 令和4年3月25日

【 人 事 】

○同意第2号 固定資産評価員の選任

…橋本修一氏の辞職に伴う選任

氏 名	北里 慎治
生年月日	昭和36年4月4日
住 所	小国町北里

○諮問第1号 人権擁護委員の推薦への意見

…任期満了に伴う再任

氏 名	福田 憲司
生年月日	昭和26年7月30日
住 所	小国町宮原



【 請 願 】

○請願第1号 新型コロナ禍によるコメ危機の改善を求める請願

請願者 農民運動熊本県連合会 会長 笹渕 賢吾

…請願の内容 コロナ禍により市場在庫を政府が買い取るなどして、需給環境を改善して米価下落に歯止めをかける事など。

採決結果一覧表

(事件名欄の名称は一部短縮して記載しているものがあります)

	議案番号	事件名	採決結果	時松	江藤	穴見	久野	児玉	大塚	西田	松本	熊谷
				昭弘	理一郎	まち子	達也	智博	英博	直美	明雄	博行
6月定例会(6月9日～11日)	承認第3号	専決第1号：小国町税条例等の一部を改正する条例について	承認	全員賛成								
	議案第23号	小国町税条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成								
	議案第24号	小国町税特別措置条例の一部を改正する条例について	可決									
	議案第25号	災害による被害者に対する町税の減免に関する条例の一部を改正する条例について	可決									
	議案第26号	小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	議案第27号	小国町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	議案第28号	小国町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成								
	議案第29号	小国町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決									
	議案第30号	熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の変更について	可決									
	議案第31号	令和3年度小国町一般会計補正予算（第1号）について	可決									
	議案第32号	公共工事請負契約の締結について（町道はげ湯線②道路改良工事）	可決									
	議案第33号	公共工事請負契約の締結について（町道下滴水線道路改良工事）	可決									
	同意第2号	小国町固定資産評価員の選任について	同意	全員賛成								
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	全員賛成								
	請願第1号	新型コロナ禍によるコメ危機の改善を求める請願について	不採択	×	×	×	×	○	×	○	×	×

議長報告

今年の4月で4年任期の折り返し点となりました。本議会では、これまでに議会活性化特別委員会（大塚英博委員長）、人権啓発・男女共同参画特別委員会（穴見まち子委員長）及び災害対策特別委員会（松本明雄委員長）並びに地熱発電の請願に関する特別委員会（久野達也委員長・令和2年3月に審査終了）を立ち上げました。

※広報特別委員会（西田直美委員長）は常設

二年間を振り返りますと北里柴三郎博士の新千円札採用、SDGsの推進ほか産業の振興、地域の振興に取り組もうとした矢先に、コロナ禍さらに昨年には7月豪雨災害が発生しました。コロナウイルス対策については、小国町でもワクチン接種が始まりましたが、まだまだ十分な警戒が必要な状況にあると思います。旅館や飲食店などのサービス業をはじめ、農林業ほか、その他の産業やパート従業員にも大きな影響が及んでいます。このような状況下、町も議会も住民の皆様と力を合わせて、この難局を乗り越えなければと思っています。

残された任期では、コロナ禍を乗り切るとともに災害復旧も進めなければなりません。また、アフターコロナにおける北里博士を軸にした地域おこし、SDGsの推進、農林業、商工観光業ほかの振興、医療福祉の充実、教育の振興、少子化対策も急務となっています。

議員一同、これからも職責を全うすることをお約束し、折り返し点のご挨拶といたします。

さて、議会構成について、下記のとおり今年の5月から二つの常任委員会を、総務・文教厚生・産業の三常任委員会とし、各議員が二つの委員会を受け持つこととなりました。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和3年7月 小国町議会 議長 松崎 俊一



小国町常任委員会

（令和3年6月9日改選）

<総務常任委員会>

議席	氏 名	役 職
4番	久 野 達 也	委員長
8番	松 本 明 雄	副委員長
2番	江 藤 理一郎	
5番	児 玉 智 博	
7番	西 田 直 美	
9番	熊 谷 博 行	

<文教厚生常任委員会>

議席	氏 名	役 職
2番	江 藤 理一郎	委員長
5番	児 玉 智 博	副委員長
1番	時 松 昭 弘	
3番	穴 見 まち子	
6番	大 塚 英 博	
7番	西 田 直 美	

<産業常任委員会>

議席	氏 名	役 職
9番	熊 谷 博 行	委員長
3番	穴 見 まち子	副委員長
1番	時 松 昭 弘	
4番	久 野 達 也	
6番	大 塚 英 博	
8番	松 本 明 雄	

<議会運営委員会>

議席	氏 名	役 職
1番	時 松 昭 弘	委員長
2番	江 藤 理一郎	副委員長
4番	久 野 達 也	
9番	熊 谷 博 行	

一部事務組合議会報告

諸般の報告として、一部事務組合議会内容等を所属議員から報告を行いました。

阿蘇広域行政事務組合（令和3年第1回定例会：令和3年3月22日） 時松昭弘議員報告

- ・ 全員協議会にて、議長に南小国町の井上則臣議員、副議長に高森町の本田生一議員が選任された。
- ・ 令和3年度一般会計予算は35億1,652万4千円。内、衛生費（ごみ、し尿）が20億2,113万5千円、消防費が10億2,525万円、総務費1億4,178万7千円など。
- ・ 令和2年度の7市町村の負担金総額は27億2,499万円。内、小国町の負担金は3億4,036万6千円。



阿蘇広域行政事務組合議員

肩書・議席番号	議 員 名	市 町 村	肩書・議席番号	議 員 名	市 町 村
議長・7	井 上 則 臣	南小国町	12	井 芳 美	産山村
副議長・15	本 田 生 一	高森町	13	西 村 直 樹	産山村
1	古 木 孝 宏	阿蘇市	14	佐 伯 金 也	高森町
2	五 嶋 義 行	阿蘇市	16	津 留 智 幸	高森町
3	菅 敏 徳	阿蘇市	17	工 藤 保 雄	南阿蘇村
4	園 田 博 文	阿蘇市	18	丸 野 健一郎	南阿蘇村
5	谷 崎 利 浩	阿蘇市	19	今 村 竜 喜	南阿蘇村
6	立 石 昭 夫	阿蘇市	20	今 村 輝 宏	南阿蘇村
8	下 城 孔志郎	南小国町	21	上 野 正 博	西原村
9	時 松 昭 弘	小国町	22	中 西 義 信	西原村
10	江 藤 理一郎	小国町	23	小 城 保 弘	西原村
11	穴 見 まち子	小国町			

小国町外一ヶ町公立病院組合（令和3年第1回定例会：令和3年3月25日） 久野達也議員報告

- ・ コロナウイルス感染症患者等入院病床確保事業補助金等を増額する令和2年度補正予算（第2号）
- ・ 病院事業費17億3,800万円とし、小国町負担金を2億220万円とする令和3年度当初予算
- ・ 坂本英世院長退職に伴い今後の体制について報告
堀江秀親副院長を院長、片岡恵一郎副院長を病院事業管理者とする。坂本英世氏を名誉院長に。
- ・ 老人保健施設水道漏水について報告
平成29年度から令和2年度までで1,100万円強の漏水損失が生じた。

病院組合議員

肩書・議席番号	議 員 名	市 町 村
議長・6	熊 谷 博 行	小国町
副議長・1	穴 井 則 之	南小国町
2	西 田 直 美	小国町
3	松 本 明 雄	小国町
4	佐 藤 毅	南小国町
5	久 野 達 也	小国町





熊谷 博行

『電子入札』 導入へ期待を

問現在、町の入札方式は従来通りの指名競争入札だが、熊本県や県内約半数の20市町村が電子入札を導入している。電子入札のメリットは落札まで関係機関へ足を運ぶことが無く、落札すれば業者は契約に赴くだけだ。コロナ禍の中、どの自治体も導入したいものと思うが費用が相当掛かる。担当職員も要るはずだ。去年の7月豪雨後の町にはマストだったはずだし今後も必要と思う。従来のやり方では職員が何人居ても作業効率は上がらないと思う。学校教育にICT導入も大切だが、それ以外の面にも目を向け早急に電子入札システムを導入することを提案する。町の考えを聞きたい。

【総務課長】県内の導入状況は、議員の言うとお

りで、当町においても県内の導入状況、導入による事務の効率化、入札者の費用軽減等を踏まえシステム導入について現在情報収集しているところだ。また町内事業者へのシステム導入に係る事前周知やシステム導入に対応できない事業者への課題もあるため、今後検討していきたいと思っている。

問町内事業所の半分以上は県の工事にも入札参加している。特に土木・舗装業者全ての事業所で入札環境に問題はないと思う。総務省も電子政府・電子自治体化を推進している。町長の見解は。

【町長】私も入札会に出席している。入札本数も多い為会場に長時間在席している。時間の活用も大事と考えている。人的な力の削減と言うか、出来るだけ効率の良いやり方を今後把握・模索していきたい。



児玉 智博

光未加入世帯にも 個別受信機 「緊急告知防災ラジオ」 を貸し出せ

問小国町の戸別受信機はテレビの地上波の再送信と、インターネット回線と一体になっているため、加入金と毎月の利用料金を負担しなければならない。命に直結するような防災情報が金を払わなければ、届けられないというのは果たしてどうなのか。昨年、光ネットワークへの加入を申し出たが、線を引くのには多額の負担を求められ断念したという人もいる。周辺には屋外スピーカーもなく、防災放送は届かない。お金を出さなければ仕方ないと思うか。

【情報課長】ラジオで周波数を76.5につけておけば、緊急放送は受信出来るという事と携帯、それからテレビ等による、情報を受信してほしいと話をした。

問戸別受信機は、光ケーブルを介して受信する通

常放送とは別に、FM電波を利用した緊急放送も受信出来る。光ネットワークに加入していない人にも戸別受信機を配布するべきだ。そして緊急放送は、現在警戒レベル5の時になって放送するように決めていて、去年の7月豪雨でさえ行っていないというが、防災に関する一切の情報は緊急放送で発信すべきではないか。

【情報課長】物理的には貸与というのは可能。あとは総務課のほうとの調整、検討が必要。

【総務審議員】町はその防災行政無線の他にもFM放送やCATV、テレビや登録メール、テレビインターネットを使ったLアラート、携帯のエリアメールなどを利用して、少しでも情報の取得漏れがないよう対応している。

【町長】防災ラジオにこだわらず、情報として伝えられることがあればたくさん出していききたい。



緊急告知防災ラジオ



久野 達也

防災マップの活用と更新計画 普通財産の管理計画

閩町は平成30年3月に災害に強い安心安全なまちづくりとして総合防災マップを作成し、全世帯に配布した。その後、転入世帯への配布はどのようになっているか。転入された方々は地形や避難箇所・防災組織等情報も不十分と思える。

【総務課長】防災マップ全世帯配布後に転入された方には、希望があれば配布していたが、本年6月からは転入届提出時に配布している。

閩避難情報等の取扱いも変化している。防災マップの更新作成の考えはあるか。

【総務課長】現行防災マップは平成29年度に作成された。避難勧告・指示の一本化など避難情報の変更等もあり令和4・5年度を想定して、内容等の検討を県と協議し進めていきたい。

閩防災マップの危険箇所等での開発行為等が生じた場合の対応や考えは。

【総務課長】危険区域内での開発行為に対しては土砂災害防止法等の各種法律に基づき対応していきたい。

【町長】自然と開発のバランスをしっかりと保っていきたい。急峻な地形が多いので、防災マップに関しても現状や情報もたくさん用意し提示していきたい。

閩普通財産の管理状況や今後の管理計画・方針等を定める考えがあるか。

【町長・総務課長】将来にわたり利用する見込みの無い物件については、当該地隣接地の所有者、周辺住民、議員のみなさんの意見を伺いながら、売却可能資産としての整理管理を行いたい。



小国町総合防災マップ



西田 直美

第2期 小国町SDGs 未来都市計画

閩2018年にSDGs未来都市になった。言葉は知られるようになったが、具体的内容の周知は果たして町民に浸透しているのか。これまでの成果は何と考えるか。

【政策課長】①町内複数個所で薪やチップボイラーを導入。学びやの里では環境と経済を循環するシステムを確立。②ネイチャーエナジー小国株式会社を設立し町内に自然由来の電力を供給し、エネルギーの地産地消を図っている。

閩第6次小国町総合計画基本構想で4つのビジョンが提示されている。3年目のSDGs未来都市とも目標は重なると思う。これまでどのようなモデルを作り、町民が良かったと実感できるものは何か。自律的経済活動として持続する仕組

みのために町民は何をやれば良いのか。

【町長】先人の守ってきた地熱や森林資源を使った地域循環共生圏事業を考えている。が様々な事業にはデメリットやリスクもある。

設備投資に多大な自己財源を使うことで防災に強く地域の魅力にもなるが一種の賭けになることもあるのでバランスを考えねば。

閩旧西里小学校に多額の修理費用をかける理由とその必要性は何か。

【政策課長】環境教育推進をはじめとする人材育成、地域の防災拠点として必要。

【町長】ESD(持続可能な開発のための教育)に活用するために東京の会社ID22と提携している。ドーム型の空間を使っていきたい。

【西田】SDGsに関わっている多くの組織があるが、それぞれが十分機能しなければならない。何より重要なのは一人一人の町民が自分の取り組めることは何かを理解し行動を起こすことだと考える。





穴見まち子

手づくりの館・悠工房の支援と災害時の施設利用

問手づくりの館は、試作施設として現在まで多くの人が味噌づくりの加工場などに利用している。約20年前、産業課の下にいる研究グループが作っている味噌を使い、小国町連合婦人会によりキノコ汁を作り、ツーデーマーチの参加者等に振る舞い喜ばれたことを覚えている。この手づくりの館も6年後には保健所の許可もできないと聞いている。今後どのような支援ができるのか。

【産業課長】食品衛生法の改正により特定食品衛生法で許可ができたが、食品衛生法が変更されることになっている。農産加工施設が一施設一営業となっている。施設自体も古くなり、営業許可廃止後の利用客に対する支援が課題である。

【町長】地域の魅力、文化は手づくりの中にある

と思っている。食品衛生上の法的部分をクリアしないと前に進めないのが課題である。大事なところはそれぞれのグループの活動、技術や考え方、気持ちを受け渡していける形を続けて、手づくりの館・悠工房を使っの地域の食育は重要な要素で続けてもらいたいと思っている。

問小国町にある団体は婦人会、食改や更生保護女性会など6団体あるが、災害時に何か一緒になって使用する場合は、古くなった手づくりの館や悠工房しかないと思うがどう考えているのか。

【町長】横の連携があってきちんと話ができるようであれば炊き出しのボランティア等をしていただけると災害に遭われた方は喜んでいただけると思うが、地震の場合は、杖立防災センターや隣保館、学校など使える場所で分散して作っていただき、持ち寄るという考え方もある。

問町でIHを備えて簡単に作業できるところを考えてほしいが如何か。

【町長】IHの移動は簡単だが、電源を確保することが難しい。新たな投資をするのではなく、現時点での施設を何とかやりくりしていただくことでお願いしたい。



江藤理一郎

住宅不足解消に町有地の有効活用を

問小国町にとっての最優先課題は人口減少であり、様々な分野で地域の活力を縮小させる原因となっている。人口減少に対してどんな政策を軸に取り組んでいく予定か。

【政策課長】総合計画や総合戦略、SDGs未来都市計画に掲げている全てのことが人口減少問題への対策であると認識している。

【町長】町が関わる全ての事業において総合力を持って人口減少に当たっていくしかないという状況である。

問現在、町内外問わず家を探している方が多く、すぐに住める家やアパートがない状況である。住宅の手配も人口流出を止めることに直結すると思うが、住宅不足をどの程度把握しているか。

【町長】借家、アパートを含め現在3部屋しか空いてない。最近は若い方が戻ってきて町内や近隣地域に勤めているケースが増えており、コロナ禍にあって都会からの移住定住もあるが、町民の意識も少し変わってきている印象である。

問Uターンの若い世代や子育て世代、町営住宅に住めなくなった方など事情は様々だが、現状3部屋しか空いていないのは現実であり、そこも条件に見合う間取りや家賃なのかもわからない。そこで、人口の流出を抑えるためにも宮原周辺にある町有地を整地して分譲する、払下げをするなど住居が構えやすい環境を整える。または、民間でアパートが建てやすい環境をつくるなど計画的な町有地の有効活用は必要ではないか。

【町長】町民や移住希望者の方の希望を含めて今後一覧として提示し、どのような方向にしていきたいのかも話をしたい。

【江藤】町有地の有効活用についてはタイミングもあるので勉強会や議論等を進め、次年度には対策が取れるよう早めの対応をお願いしたい。



大塚 英博

ワクチン接種の スピードアップを!!

問新型コロナウイルス感染拡大防止の切り札となるワクチン接種の今後の進め方とスピードアップについて問う。

【町民課長】高齢者から年齢層ごとに段階を追って接種券を発送し計画的に実施していきたい。

【町長】国・県・町も一丸となって接種体制に向けて、着実に進めたいと思っている。

問たばこを吸う人と吸わない人が共存できる分煙社会の実現の為、町民センター、公共施設等の敷地外での分煙施設の整備について問う。

【町長】町として、その部分にお金を投入するのは、今のところ考えていない。事業所の分煙を進めるに当たっては、補助金等の周知を商工会を

通じて進めていきたいと思っている。

問委託料については、本来は事業主体がやるべきところを、外部に発注しているが、委託業務についても十分検討してはと思うのでその点についての見解を問う。

【町長】精査出来るとはしていかなければならないが、まずは予算を消化していく事も大事ではなかろうかと思っている。



小国公立病院



松本 明雄

ふるさと納税と 介護保険

問ふるさと納税の現状実績(数字)の説明を。

【政策課長】昨年度のふるさと納税の件数は7,162件、寄付額2億2,055万1,808円。この寄付の中には個人の高額寄付や、昨年7月豪雨災害支援寄付も含まれている。災害支援寄付を除く寄付額の割合は75%の方が1万円の寄付、地域別の割合は約45%が東京近郊の関東、約20%が大阪近郊の関西、15%が北九州、その他となっている。返礼品の内訳は全体の56%に当たる3,707件が肉類、続いて1,989件がジャージー牛乳の乳製品、次に干し芋や干し椎茸の加工品、小国杉で作られた木工製品、その他、酒類、旅館の宿泊券、野菜である。返礼品については小国町内の特産品を集めて約140種目を揃えており、ポータルサイトの増加も検討しているところだ。

【松本】現在ふるさと納税に関してはSMO南小国に委託しているが、南小国町は約10億円近くある。ほぼ同じ品物で4キロしか距離が離れていないのに10億と1億この差は何か、地場産業 以外に民間の力を借りてでも、小国のPR雑誌や宣伝広告なども出来るのではないかと思う。公共団体が稼げるのはふるさと納税しかない。他の市町村も試行錯誤の努力をしているようだ。小国町もSMO南小国に委託料として寄付額の5%を支払っているとの説明があったが、SMO南小国を更に活用しもう少し数字を伸ばす方法を考えていただきたい。

問介護保険料がこの8期になって200円下がる。上げるのは当たり前だと思う中、福祉課、病院、他の団体の方々の相当な努力があり画期的な事だと思っている。介護保険事業の運営説明と今後の推移を問う。

【町民課長】3年ごとの計画で、過去のサービス給付料を参考にして今後3年間の見込みを出す。町としては健康寿命と言われる年齢を伸ばしていくということ高齢者のかたが住み慣れた地域で健康を保持しながら、自立した在宅生活を支える仕組みをつくるのが目的。行政だけでなく医療、福祉、介護の安心ネットワーク等と一緒に健全な介護運営に取り組んでいる。高齢化率は今後も高くなる見通しであり、介護保険料も厳しいものになってくると思われる。

クローズアップ小国

小国町で活躍する注目の人や団体を紹介するシリーズ。第4回目は宮原松田のむらかみ理容室の村上富夫さんと上田仁瀬の橋本治夫さんを紹介します。

町内最高齢理容師 村上 富夫さん(86歳)

—プロフィール—

昭和10年8月25日、小国町生まれ。

—理容師を始めたきっかけを教えてください。—

友人が床屋をしており、その勧めで熊本市内の白山にある理容専門学校（現熊本高等理容学校）に1年間通い卒業後、市内の店舗で修行し、地元の床屋に3年、日田市の理髪店で1年間勤めた。その後、父の勧めで開業してみないかと言われ、昭和31年20歳の時に宮原上広瀬の店舗を借り開業した。15年経った時に、現在の宮原下町に家を建て店舗を新たに作った。



—昔の小国はどうでしたか?—

昭和40年ごろは人口が今の倍以上いて、人通りも多く活気があった。店は3人の職人さんを雇って毎日満員で忙しかった。

—大変だったことは何ですか?—

上広瀬の店舗の時は、店に寝泊まりできるところが無く、床下に部屋を作って生活していた。狭いことに加え、天井が低く頭を伸ばすことができずにとっても窮屈な暮らしだった。

—良かったことは何ですか?—

中学卒業後何も決まっていなかった私に友人が床屋を勧めてくれたことが良かった。おかげでたくさんのお客さんに恵まれ、今まで開業して66年間仕事ができ幸せだった。

—いつまで続けたいですか?—

お得意様が多く、ありがたいことになかなか辞められない。

小国郷内のゴミ拾いボランティアで11年間毎日継続 橋本 治夫さん(74歳)

—プロフィール—

昭和21年10月27日南小国町生まれ。26歳の時に関西から帰郷後、小国町の製材所に勤務し30歳で現在の上田に住み始める。現在は週6日タクシー会社の受付をしている。

—ゴミ拾いを始めたきっかけを教えてください。—

59歳の時に足を痛めてしまったが、犬の散歩がきっかけで状態が良くなったことから歩くようになった。歩いていると至る所でゴミが落ちていることに気付き、空き缶やペットボトルを拾い始めたことがきっかけ。今では雨や雪の日以外、毎日交互に宮原側と南小国側へ片道3km、夏は朝4時半から冬は9時ころから2時間弱かけて歩いている。

—大変だったことは何ですか?—

ゴミが多すぎて、ビニル袋に入らなくなった時が大変だった。

—やってよかったことは何ですか?—

ゴミが年々少なくなってきたこと。歩いたおかげで血圧も高かったのが下がり、足も良くなり健康体になれた。



◆水上村町有林視察

4月22日（木）一年生議員3名（江藤、久野、西田）は小国町が球磨郡水上村に所有する町有林の視察に初めて行きました。水上村では上球磨森林組合に立ち寄って組合長のお話を伺い、その後職員の方の案内で町有林を見て回りました。30ヘクタールの広大な森には樹齢18～84年の杉と檜が育っています。2020年7月豪雨で土砂崩れの箇所もありました。



編集後記

1964年東京大会以来、57年ぶり2度目の日本での夏季五輪が7月23日に開幕しました。小国町出身の2名の方が選手・チームスタッフとして出場しています。活躍を期待するとともに誇らしく思います。また、今大会はコロナ過により国内外でも様々な意見がある中での開催であり、感染防止に対する対応策が求められています。開催現場での運営関係者の努力にも敬意を表します。

これまで町議会でも新型コロナウイルス感染症対策対応について継続的に議論されています。また、現在、ワクチン接種についても計画的に進行しています。今後においても新型コロナウイルス感染症に罹らないよう、罹らせないよう、生活を確認しながら暮らしていく必要もあろうかと思ひます。1日でも早く従前の日常に戻ることを願わずにはられません。（久野）



【発行責任者】

議長 松崎 俊一

【広報委員会】

委員長 西田 直美

副委員長 江藤理一郎

委員 久野 達也

委員 児玉 智博

議会を傍聴してみませんか



佐藤 ゆみ さん
(西里)
(6月10日傍聴)

気軽な服装で行きましたが全然問題ありませんでした。SDGsに決まった経緯など傍聴することで良く分かり、気軽に傍聴に行くことも大事だと思いました。行って良かったです。

議員は議会でどんな発言をしているの？
どんなまちづくりを考えているの？

議会に来てあなた自身でご覧ください！

※次の定例会は9月です。日程はおぐちゃんや町内放送でお知らせします。



表紙について：宮原保育園のプール遊び

暑い夏がやってきました。年々暑くなっていく夏ですが、宮原保育園の子ども達は元気いっぱい！弾けるような笑顔でプール遊びです。元気で大きくな～れ！！